

大 賞

セーレン 株式会社

代表取締役社長 川田 達男（かわだ たつお）

本社所在地 福井市毛矢1丁目10番1号
資本金 17,169百万円（2005年9月末）
創業 1889（明治22）年
事業内容 各種繊維品の企画・製造・販売
U R L <http://www.seiren.com/>

事業の概要：

- ・1889年、輸出絹織物の精練業として創業し、染色加工企業として発展。1970年代以降、繊維産業が斜陽産業化する中、事業分野の質的転換（自動車内装材をはじめとする非衣料事業分野の拡大）、ITのフル活用（ビスコテックスシステム開発）、企画製造販売の一環体制づくり（糸から製品まで）を推進するなど、多様化する消費者のニーズに対応した新しいビジネスモデルを構築。
- ・創業の地である福井を基盤に、オートモーティブ、ハイファッションのほか、エレクトロニクス、ハウジング、メディカル事業への展開を図り、安定的に経常利益率6～7%を確保。
- ・2005年、産業再生機構による事業再生重要案件の1つ、カネボウ株の繊維事業再生を引き受け、世界で唯一、糸から縫製までの一貫生産体制を有する総合繊維メーカーとしてさらなる飛躍をめざすとともに、地域の雇用確保と繊維産業再生に取り組んでいる。

受賞理由：

- ・コスト競争力強化の観点から、多くの繊維関連企業が製造機能の海外移転を図る中、創業の地である福井を基盤に、地域に根ざしたものづくりを推進。
- ・川田社長の優れた洞察力に基づく強力なリーダーシップのもと、ITのフル活用や、企画製造販売の一貫体制づくり、繊維加工技術を基盤とする事業活動の多角化など、多様化する消費者のニーズに対応した新しいビジネスモデルの構築により企業体質を強化、卓越した競争力と優れた業績をあげている。
- ・昨年、カネボウ（株）の繊維事業再生を引き受け、自社の競争力強化を図るとともに、地域の雇用確保と地域経済の活性化、国内繊維産業の再生に貢献。これはわが国の産業がグローバル競争に勝ち残っていく上での範を示すもの。

以 上

特別賞

日本スピンドル製造 株式会社

代表取締役社長 齊藤 十内(さいとう じゅうない)

本社所在地 兵庫県尼崎市潮江4丁目2番30号

資本金 3,276百万円

創立 1918(大正7)年

事業内容 産業機器、環境機器、建材・空調機器の製造販売など

URL <http://www.spindle.co.jp/>

事業の概要：

- ・1918年、合資会社日本スピンドル製造所として、大阪市で創業。初の国産紡績用スピンドル・リング製造に着手。
- ・1949年、日本スピンドル製造(株)設立。紡績工場の環境改善や自動化・省力化を通して培われた技術・ノウハウを活かし、今日、自動車部品加工用で国内トップシェアを誇る「スピニング加工機」などの産業機械事業、高いクリーン度と高精度の温調を可能とした「クリーンルームシステム」、省エネの切札「氷蓄熱システム」、「高性能エアフィルタ」、「クーリングタワー」などの空調システム事業、病院・福祉施設向け「サイレント引戸」、シェア .1 を誇り、木の温もりでのびやかな教育環境づくりに貢献する「木製間仕切」などの建材事業、厳しい環境規制に対応する高性能集塵装置を主力商品とする環境システム事業と、様々な分野で事業を展開。

受賞理由：

- ・2005年4月25日、本社工場近くで発生した列車脱線事故に際し、即座に工場の操業を停止、従業員約230名が一致協力・連携して、被災者の救出、手当て、病院への緊急搬送などの救助活動に当たった。
- ・こうした同社の企業姿勢と実践活動は、人命尊重の精神に基づく緊急時の危機対応や地域との共生の範を示すものである。

以上

「関西財界セミナー賞2006」について

1.趣旨

関西において、優れた競争力や独自のビジネスモデルを持ち、それを力強く実践している企業や、地域活性化・関西の知名度向上に貢献している企業の経営者等を関西財界セミナーの場で表彰し、その功績をたたえる。

これにより、関西のアイデンティティの再認識と、企業の関西への帰属意識が高まるような機運の醸成を図るとともに、関西全体の産業競争力強化や地域の活性化につなげることを目的とする。

2.表彰対象・要件

(1)対象者

関西2府7県（福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県）で事業活動を行う企業および経営者など。
企業規模の大小、本社の所在地は問わない。

(2)表彰要件

以下のいずれかの要件を満たすものとする。受賞者の選定に当たっては、特に関西に対する思い入れや志、関西地域の活性化への貢献を重視する。

地元に根付いた企業活動等を通じ、地域の産業活性化、雇用増大、社会的活動への参画等の面で地域の経済社会の活性化に貢献している企業など

a)本業を通じた貢献＝自社の競争力強化と地域の経済社会活性化の両立

b)メセナ、フランソロピーなど、本業以外の部分での貢献、経営者のイニシアティブ

新規事業、経営革新を通じ、関西経済の発展、関西のイメージアップに貢献した事業の実施主体など

企業家精神を有し、独自の経営や技術、ビジネスモデル等によって業績をあげている企業など

3.選考経過

(1)公募（自薦および他薦）

・期 間：2005年10月6日(木)～11月10日(木)

・告知方法：記者発表 10月6日(木)

関西企業への募集案内（財界セミナーの予告案内に同封）

10月6日(木)

(2)選考機関

学界、経済界、NPO、外国機関など各界の有識者で構成する「選考タスクフォース」（座長：林敏彦 スタンフォード日本センター理事長）が審査・選考し、関西財界セミナー主催者等で構成する「選考委員会」（共同委員長：秋山喜久 関西経済連合会会長、松下正幸・森下俊三 関西経済同友会代表幹事）が決定。

<選考タスクフォース>

- ・第1回： 9月6日(火)
選考スケジュールおよび選考基準について意見交換
- ・各委員による応募案件(52件)の書類審査：11月18日(金)～29日(火)
- ・第2回： 12月6日(火)
上記書類審査を踏まえ、合議により、大賞候補および特別賞候補を選定し、
選考委員会に受賞候補として答申。

<選考委員会> 12月16日(金)

選考タスクフォースの審議結果をもとに合議により、受賞者を決定。

以 上